



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第四三八号）

啓蟄 けいちつ

三月五日

弥生、雛を愛でる ひな

弥生三月、桃の節供、雛祭りはやはり心躍るものです。神話の館で開催されていた「阿部夫美子と紙雛展」は伊勢の和紙人形作家、阿部さんが製作した雛人形がずらりと並んでいました。母親から「三月三日の朝に生まれた特別な女の子」と育てられた阿部さんは、幼少期の千代紙で作った紙雛の思い出が人形創りの原点といます。

会場には、直径十一センチほどの蛤 はまぐり貝を船に見立て、そこに雛人形が乗った「十五人段飾り」をはじめ、にやかな表情で寄り添うように男雛と女雛が並ぶ「春うらら」、今にも踊り出しそうな「浮かれ雛」、お雛様が雛壇から下りて、休日にのんびりと困らんでいる様子を表現した「雛の休日」など、さまざまに雛人形の姿を楽しむことができました。

「お雛様は幸せの形なので、雛を創る時はにこにこ顔で」という阿部さんのコメントも記されていました。微笑みながら製作されたお雛様はやはり幸せそうです。

中でも目を見張ったのは、「夫婦岩」という作品です。二見浦の夫婦岩が自然の中のお雛様の原型だと考えた阿部さんは、大きな男岩に男雛を、女岩に女雛に見立てました。初めて見るお雛様です。たしかに海に並び立つ二つの岩は、夫婦に喩えられ、その名が付きました。自然界のお雛様ともいえます。また、「富貴花 ふうきか」は、牡丹 ぼたんの幾重もの花びらの中にちよこんと小さな雛が置かれていました。かぐや姫のようです。自然界の岩や花にも。お雛様を見いだした阿部さんの感性にすっかり魅せられました。

暦は、地中の虫がみな動き出し、「戸を啓 ひらきて」初めて出る「啓蟄 けいちつ」。自然界も動き始める季節を迎えています。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 五十鈴川桜まつり

古来、花見は桜の木に舞い降りた山の神様をもてなす行事でした。
奉納芸能や屋台などでごゆっくり五十鈴川の桜をお楽しみください。

日 時／3月下旬～4月上旬 桜の咲く頃

場 所／五十鈴川河川敷周辺、野あそび棚周辺

※雨天及び諸事情により、内容が一部変更または中止になる場合がございます。

● 花見屋台

新緑の朝熊山を背景愛でる桜は格別です。風流な屋台と共におくつろぎください。

日 時／3月下旬～4月上旬 桜の咲く頃

場 所／五十鈴川野遊びどころ側

● 夜桜のライトアップ

日没より、五十鈴川河川敷と五十鈴川野遊びどころ周辺をライトアップします。
五十鈴川の水面に映る幻想的な桜をお楽しみください。

日 時／3月下旬～4月上旬 桜の咲く頃 ※雨天中止

● 特別花見席のご案内（予約制）

桜を愛でながら花見料理とお酒を愉しむ特別席をご用意します。

日 時／3月下旬～4月上旬 桜の咲く頃

場 所／とうふや、野あそび棚

お問い合わせ/おかげ横丁総合案内「おみやげや」電話0596-23-8838

五十鈴塾

○ 山岳宗教～修験道 山伏の知られざる活動～

山伏修行によって超自然的な靈力を体得し、そして、呪術的な活動を行う「修験道山伏」は、日本古来の山岳崇拜を基本とし、後に日本に入ってくる、密教・道教・陰陽道などの外来宗教を取り入れ、平安時代末期に一つの宗教として確立されました。日本の歴史上、あまり重要視されなかった「修験道山伏」について、歴史や組織・儀礼や思想など、概略を世義寺の竹内聖明住職に説明していただきます。

日 時／3月11日（火）13：30～15：00

講 師／竹内 聖明（宗教法人真言宗世儀寺 住職）

参加費／一般 1,500円 会員 1,000円

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 五十鈴茶屋節気菓子

さわらびじょうよ
早蕨 薯蕷

早蕨は、万葉集に「萌え出づる春になりけるかも」と季節の便りにも詠まれています。よもぎ入りの薯蕷(じょうよ)生地でこし餡を包み、春の色そのままに淡い緑で染めました。

さ ほ ひめ
佐 保 姫

奈良の都から見て春を指す東方に位置する佐保山には、佐保姫という春の女神が宿っていました。つぶ餡を雪平と羊羹を重ねた生地で包み、姫君の衣に見立てました。

はる がすみ
春 霞

山々が霞む春の景色はどこか絵画を思わせます。羊羹と浮島でその一面をかたどり、陽炎もかすかに立ち昇る春霞の景色に似せました。